

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成30年12月26日

事業所名 かめっ子クラブ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	1	・運動するときは、児童公園や法人内の他施設を活動を行い、できるだけ狭く感じないようにしている。	指定基準のに基づき指導訓練室等のスペースを確保しています。・これからも周りの施設も活用してより活動が行いやすくなります。
	2	職員の配置数は適切である	6		・男性職員が不足している。	指定基準に基づき職員の配置をしている。加配人員の確保が出来れば、よりきめ細やかな個別支援が期待できます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	2	・バリアフリー化は完全にはできていないので、改善すべき点ではあると思います。	玄関に段差が有るだけなので、現在の利用の支援には支障がない程度です。今後、配慮の必要な児童を受け入れる場合は、よりバリアフリー化に努めます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			アンケート結果をホームページ等で公表。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	1		今後外部評価について検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7			内部研修・外部研修とも十分実施しています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1		アセスメントツールの統一と全職員が使えるように勉強会を開催します。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	2	・限られた職員間でのみ	パート職員にも意見を求めるようにします。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	1	・少し固定化していると思うので、地域の方々との交流等を取り入れたいと思います。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	2	・必ずではない	打合せに参加できない職員には、書面で必ず確認してもらうことができるようにします。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	3	・気づいた点の振り返りは行っている。 ・翌朝に振り返りを行っている。	当日は出来ないことが多いので、確実に記録に残し、翌日振り返りをおこないます。また、改善については、パートさんにも説明をおこなっていきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7			定期的にモニタリングを行い計画を作成・更新していきます。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8			複数の学校機関と調整するため、ミスなく対応できるよう連携を取っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2			現在、医療ケアの必要な児童が利用していません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5				
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5			現在該当者がいません。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6			・年3回の事例検討会	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6	1		・夏休みに1回交流を行っている。 ・現在夏休みに交流を行っている。	学童保育との交流をこれからも続けていきます。高校生のボランティアサークルとの交流が来年度は出来るよう取り組みを行います。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2				
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8				
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	2			
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7				主に関わりの深い職員が対応しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	2			これからも自閉症の会等に積極的に参加して必要な協力をしていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7				苦情が発生した場合には、苦情解決マニュアルに従い対応をおこない、迅速な対応をしています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6				毎月会報を発行している。また、利用予定表に行事等を書き入れてお渡ししています。
	35	個人情報に十分注意している	7				事業所内で周知徹底しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	1			・地域住民の方を招待することはあまりできていないと思います。 ・今後検討していきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	3	・視覚的な掲示は行っていない。 ・保護者への周知をどのようにしたらよいか考えていて、現在できていない。	・防犯マニュアルやインフルエンザ以外の感染症対応マニュアルを来年度作成していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	1		来年度以降も年2回訓練を行っていきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		・年1回は全職員を対象として実施している。	虐待防止研修を年1回実施しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5		・身体拘束の事例は発生していないが、対応の準備はしている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5			現在アレルギーの児童はいないが、今後の受け入れで、アレルギーの児童が利用する場合は、医師の指示に基づく対応をします。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1	・その都度作成はしているが、共有まで至っていない。	事例は少ないが、職員間で共有が出来るよう、報告後に勉強会をしていきます。